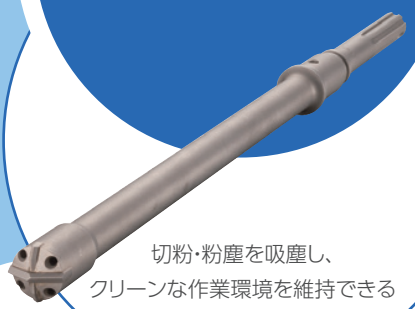
JPX
東証上場
証券コード：3435

第55期 事業のご報告
2018年4月1日～2019年3月31日

株主通信

NEW



切粉・粉塵を吸塵し、
クリーンな作業環境を維持できる
「パワーキュージンドリル」

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を支えています。

サンコーテクノ株式会社

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
ー 人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす ー

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。

「一般社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業
プログラム『倫理17000』の
第1号に認定

サンコーテクノグループ
S.T.G VISION 2020

私たちは **独自の締結（ファスニング）システムで、**
安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

5つの視点

お客様へ…
お客様の期待を超える価値創造を実践し、
“SANKO ブランド=人”を実現します

お取引先様へ…
共育・共創・共生を
キーワードに共鳴し合える
関係を構築します

社会へ…
事業を通じて、安心して
暮らせる豊かな
環境づくりに貢献します

株主様へ…
持続的な利益創出と
株主還元により企業価値の
向上を図ります

社員へ…
自身の成長とチームの
達成感（喜び）を共有できる
職場環境を構築します

S.T.G スローガン

グループ一丸となって、
人財・品質・実践力を磨き モノづくり企業を究めます

SDGsへの取組み

当社グループは、SDGs（持続可能な開発目標）についても、
さまざまなステークホルダーと共に、達成に貢献していきます。

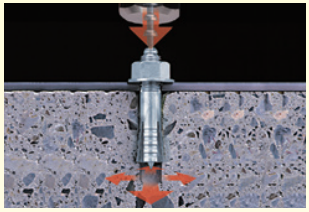
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

FLAGSHIP

「あと施工アンカー」とは?

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するように、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。
当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを維持しております。

釘


あと施工アンカー

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております

自動販売機の固定に

フェンスの取付けに

ジェットファンの取付けに

室外機の取付けに

ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社の2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

代表取締役社長
洞下英人

外部環境に左右されず、安定成長を実現する基盤・体制の構築を加速しております。

1. 2019年3月期の連結業績と配当につきまして

当社グループの中期経営計画4年目でありました2019年3月期は、期前半は相次ぐ自然災害の影響等から地方圏であと施工アンカーの販売が停滞したものの、かねて注力してきた営業改革の効果等もあり、都市圏での土木関連の完成工事高が大幅に増加したほか、鉄筋カッターなど電動油圧工具の売上が国内で伸長いたしました。その結果、売上高は前連結会計年度比4.3%増の17,025百万円、営業利益は同13.6%増の1,317百万円となり、期初計画を上回る業績となったほか、2期連続の増収増益となりました。

これを受けて、1株当たりの期末配当金につきましては期初計画通り、前期に比べて2円増配の24円とさせていただきました。当社グループは今後も、将来の事業展開・経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としてまいります。

2. 事業環境認識

各種設備工事の需要は今後も堅調な拡大が見込まれるほか、インフラ・土木関連需要については、昨年相次いだ自然災害の影響等もあり、「安全・安心」をキーワードとするニーズがこれまで以上に拡大し始めております。また、高度経済成長期に整備された各種インフラや建造物等の維持・保全・補修においても、都市圏における高速道路や鉄道、トンネルだけでなく、地方圏でも新たなマーケットが顕在化し始めております。当社グループはこうした事業

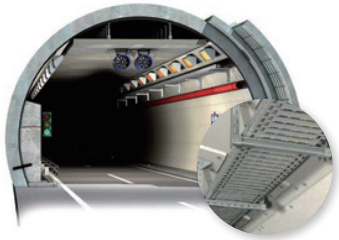
機会を確実に捉えることで、今後も着実に収益を拡大するとともに、ファスニング事業で数年来取り組んできた営業改革と、機能材事業で進めてきた事業ポートフォリオ改革の成果を活かし、新たな投資も拡大していくことで、中期戦略目標である「外部環境に左右されず、安定成長を実現する基盤・体制の構築」を加速してまいります。

更なる「安全・安心」へのニーズにお応えしております

ツァイコンアンカー
FZAタイプ

[アンダーカット（拡底式）アンカー]

ひび割れコンクリートに対しても
最大限の安全性を確保



トンネル内設備の取付けに

鉄骨梁の取付けに

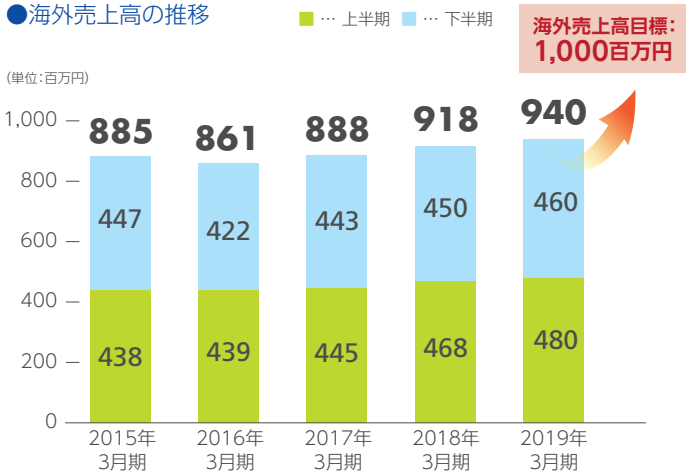
3. 中期経営計画5年目の重点施策

当社グループの収益の柱であり続けるファスニング事業については、これまで取り組んできた営業改革と開発改革の成果を土台に、新たなニーズにスピーディーに応え続けることで持続的な成長を図ります。首都圏の大規模ユーザー向けの営業強化策として取り組んできた「CPM（クロスプロジェクトマネジメント）」、地方圏において数年来注力してきた「現場力アップ」の取組み、昨年4月に創設した技術研究所による「開発のスピードアップ」が奏功し、当社グループならではの付加価値を現場の最前線に深く浸透させ、最新ニーズをスピーディーに吸収し、迅速な製品開発と新たな市場の創出につなげる仕組みが、グループの全拠点に定着しつつあります。今後はこの新たな価値創造基盤をベースに、首都圏、地方の双方で更なる高まりを見せている「安全・安心」へのニーズを着実に取り込んでまいります。具体的には、本年4月に立ち上げた「土木（トンネル）改修工法に関わる製品開発プロジェクト」を核に、安全性への要求水準がますます高度化しているインフラ補修現場に対し、強度性能の高いアンダーカットアンカーや新製品の投入を加速するとともに、地方圏の農業地域を中心に増加が見込まれる用水路の補修ニーズにも応えてまいります。

機能材事業については、これまで取り組んできた事業ポートフォリオ改革が一巡したことから、新たなポートフォリオの構築へ向けて投資を強化するステージへ移行いたします。その一環として、本年2月、電子部品実装加工、完成品加工技術を持つ浦和電研（株）の株式を取得いたし

ました。事業の多角化の1つとして始めた(株)スイコーの電子基板事業とのシナジー創出と垂直統合により、鉄道車両や産業機械、ヘルスケア機器向け制御基板など、ニッチな分野に少量多品種を提供してまいります。また、本年4月には、プラスチック成形機および包装機の製造・輸入・販売を行う成光産業(株)の株式を取得いたしました。同社の経営資源を当社グループの営業ネットワークと融合しながらシナジーを創出し、地域密着営業を展開しながら新たな事業を構築してまいります。成長ドライバの1つであるアルコール検知器については売上高が前期比横ばいとなりましたが、新たなニーズとして個別利用の小型ハンディタイプの比率が高まっていることから引き続き経営資源を投入し、新たな製品開発等に注力いたします。
売上高10億円の達成を当面の目標としてきた海外事業については、2019年3月期は欧米での売上が減少し、わずかに未達となりましたが、本年4月に発足した海外統制プロジェクトを核に国内外の拠点間連携と取扱商品の拡充を進め、2020年3月期での売上高10億円達成を目指してまいります。

●海外売上高の推移



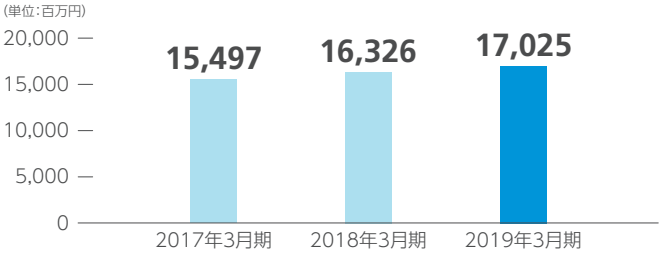
4. SDGsやESGについても、進化へ向けた地道な取組みに注力

今後も事業を通して「安全・安心・環境」という価値を社会に提供することを存在意義とする当社グループは、SDGsやESGへの取組みについても地道な活動を積み重ね、長期安定成長と持続的な価値創造への道筋を確かなものにしてまいります。
SDGs目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」では、このたび、用水路の補修等により、農業分野での貢献も本格化させるチャンスを得ることができました。
環境への配慮については、全ての製品について「リサイクル」「リユース」を前提とした仕様の策定に取り組むとともに、国内外の製造ラインにおいて、オイルのリユースや水溶性オイルへの切り替え等を進めております。
従業員との共創については、「5S(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)改善活動」の進化へ向けて改善提案を募り、昨年度は約170件超の提案による改善を実施いたしました。今後も5S活動を強化し続けるとともに、浦和電研(株)と成光産業(株)が加わったことで強化された人財の多様性も活かし、新たな価値創造に邁進してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

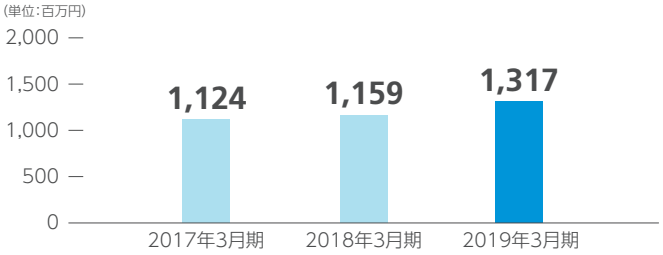
HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

2019年3月期は、都市再開発やインフラ整備、東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心に民間設備投資・公共投資ともに底堅い動きであった一方、資材価格や労務費上昇等による影響が継続するなか、中期経営計画4年目の重点施策として、営業改革や開発改革、事業ポートフォリオの強化を継続した結果、売上高は17,025百万円(前連結会計年度比4.3%増)、営業利益1,317百万円(同13.6%増)、経常利益1,333百万円(同14.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は943百万円(同18.4%増)となりました。

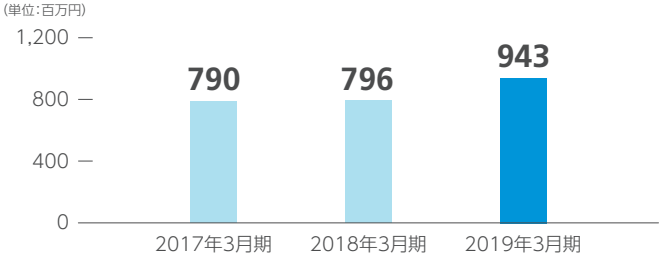
売上高



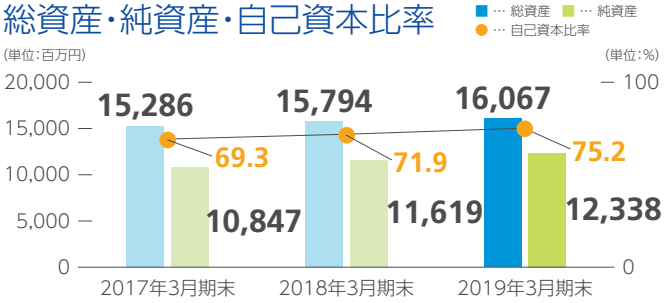
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

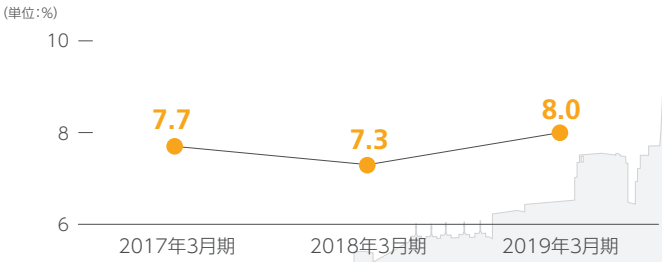


総資産・純資産・自己資本比率



※2018年3月期の総資産および自己資本比率は、税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴い、遡及修正しています。

ROE



2020年3月期通期業績予想

売上高	18,300百万円
営業利益	1,390百万円
経常利益	1,410百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	965百万円

TOPICS 2018年度および最近のトピックス

製品情報 2018年4月

耐震補強用接合部材「ディスクシアキー」の適用範囲が拡大

飛島建設株式会社、株式会社大本組、当社の共同開発による本製品について、適用範囲が拡大いたしました。

1

製品情報 2018年8月

呼気アルコール検知システムが自動車事故対策費補助事業の対象機器に認定

国土交通省による平成30年度自動車運送事業者における自動車事故対策費補助金（過労運転防止のための先進的な取組みに対する支援）事業において、当社商品が対象機器として認定を受けました。

ALCGuardian Net

各事業拠点

管理拠点

ALCGuardian mobile TR-2

2

展示会 2018年9月/東京ビッグサイト

アジア最大級の物流・ロジスティクス専門展「国際物流総合展2018」に出展

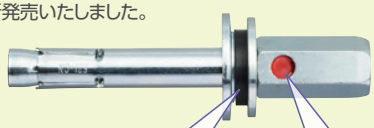
次世代に向けた点呼のあり方をコンセプトとし、呼気アルコール検知器をはじめ、IT点呼システム等を出展いたしました。

3

製品情報 2018年10月

イージーアイアンカー EZI新発売

2つの施工完了を目視で簡単に確認できる、イージーアイアンカー EZIを新発売いたしました。



4

製品情報 2018年11月

サイズミックエコフィラー SE-150新発売

2016年11月に発売を開始したSE-550の少量タイプ、SE-150を新たに発売いたしました。

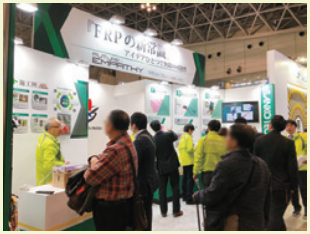
※本製品は、国土交通省・新技術情報提供システム（NETIS）に登録されています。

5

展示会　2018年12月/幕張メッセ

加工機械・材料の総合展「接着・接合EXPO」に出展

紫外線硬化型FRPシート「e-シート」をメインとして出展し、真空成形(真空の力でシートを型に密着させてFRP造形を行う)のデモンストレーションを行いました。



6

展示会　2019年1月/さいたまスーパーアリーナ

国内最大級のビジネスマッチングイベント「彩の国ビジネスアリーナ2019」に出展

機能材本部と株式会社スイコーが共同出展。e-シートや高性能ウレタン系接着材「オートグリップ」、アルコール検知器等を出展いたしました。

7

製品情報　2019年4月

パワーキュージンドリル PQ4M新発売

上向きや室内の作業に威力を発揮する「パワーキュージンドリル PQ4M」を発売いたしました。2014年に発売した機種を進化させた同製品は、削って吸い込むドリルにより、粉塵のない現場を実現いたします。

8

会社情報　2019年2月

浦和電研株式会社の株式取得

2019年2月27日付で、浦和電研株式会社がサンコーテクノグループの一員となりました。

【事業内容】
電子部品実装加工、完成品加工

会社情報　2019年4月

成光産業株式会社の株式取得

2019年4月10日付で、成光産業株式会社および、同社の子会社である成光パック株式会社がサンコーテクノグループの一員となりました。

【事業内容】
プラスチック成形機および包装機の製造・輸入・販売

9 10

5S 改善活動推進

整理　整頓　清掃　清潔　習慣

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

82.2%

各種設備工事等需要の分野によるばらつきにより、主力製品である金属系あと施工アンカーの販売は微増にとどまりました。一方、低迷していた接着系あと施工アンカーの販売が底打ちし完成工事高が増加したこと、ドリル・ファスナー製品の販売が増加したことなどから、総じて堅調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は13,997百万円（前連結会計年度比8.8%増）、セグメント利益は1,840百万円（同9.9%増）となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類

●ドリル・電動工具関連

- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工ツール
- 確認試験機

●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー

●工事関連

- 建築関連（耐震補強工事）
- 土木関連（一面耐震補強工事等）
- 太陽光関連

関連性の深いSDGs目標

機能材事業

17.8%

電動油圧工具関連の販売が国内を中心に好調に推移し、電子基板関連も堅調に推移した一方、アルコール検知器の販売が微減となり、FRPシート関連は二重床や防水樹脂の材料販売終了により減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は3,028百万円（前連結会計年度比12.5%減）、セグメント利益は265百万円（同35.5%減）となりました。

●FRPシート関連

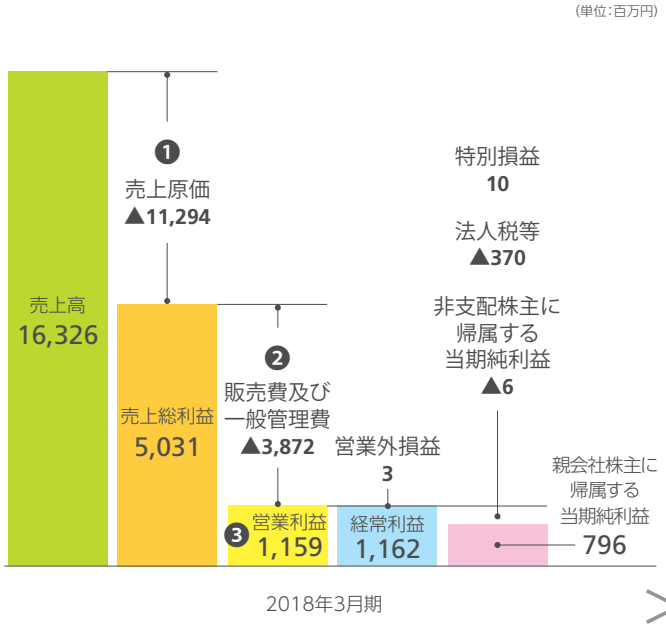
●各種測定器、電子プリント基板関連

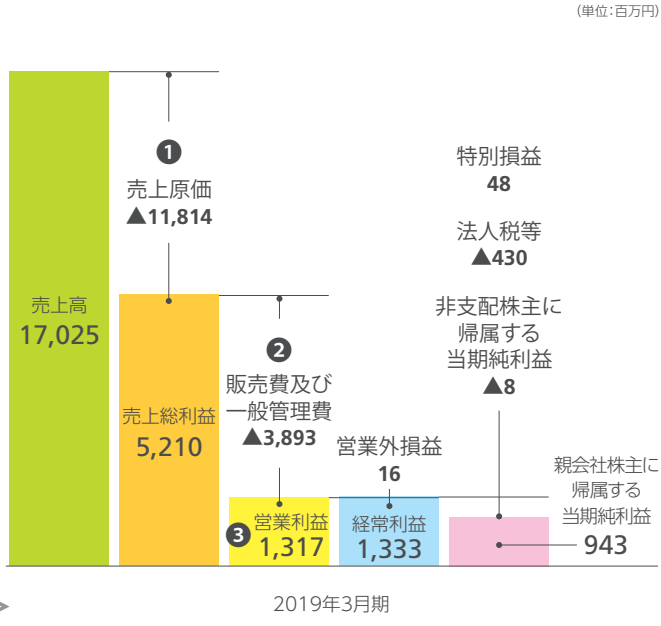
●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等

関連性の深いSDGs目標

連結損益計算書の概要



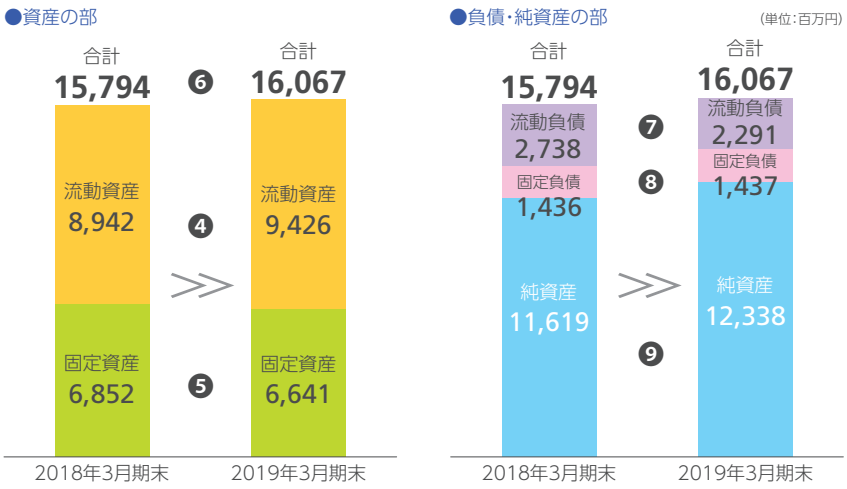


❶売上原価率は0.2ポイント増加し、69.4%となりました。
❷販売費及び一般管理費率は0.9ポイント減少し、22.9%となりました。
❸これらの結果、営業利益率は0.6ポイント増加し、7.7%となりました。

詳細な財務諸表等をご覧になりたい方は、
当社ホームページ「IRライブラリ」の決算短信をご参照ください。

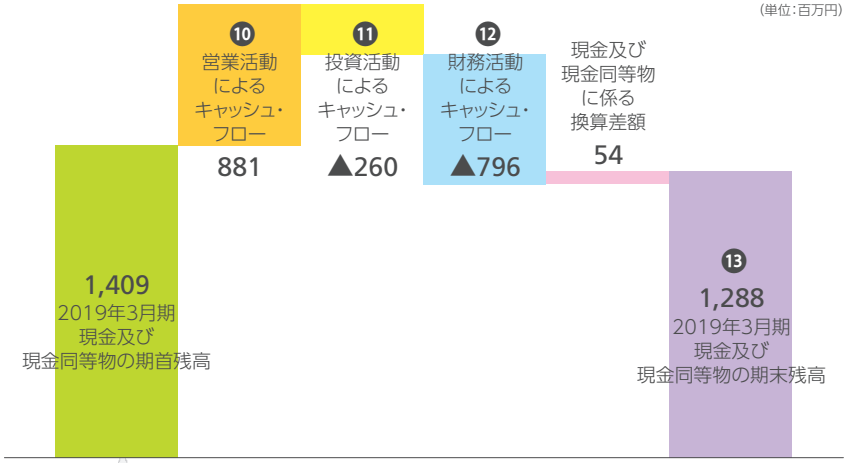
サンコーテクノ 検索 ⇒ トップ画面 ⇒ IR情報 ⇒ 決算短信

連結貸借対照表の概要



❹流動資産は、商品及び製品の増加等により484百万円増加いたしました。
❺固定資産は、建物及び構築物(純額)の減少等により210百万円減少いたしました。
❻これらの結果、総資産は273百万円増加いたしました。
❼流動負債は、短期借入金の減少等により447百万円減少いたしました。
❽固定負債は、退職給付に係る負債の増加等により1百万円増加いたしました。
❾純資産は、利益剰余金の増加等により719百万円増加いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



❿税金等調整前当期純利益等により、資金が増加いたしました。
⓫貸付けによる支出等により、資金が減少いたしました。
⓬借入金の返済等により、資金が減少いたしました。
⓭これらの結果、現金及び現金同等物は、121百万円減少いたしました。

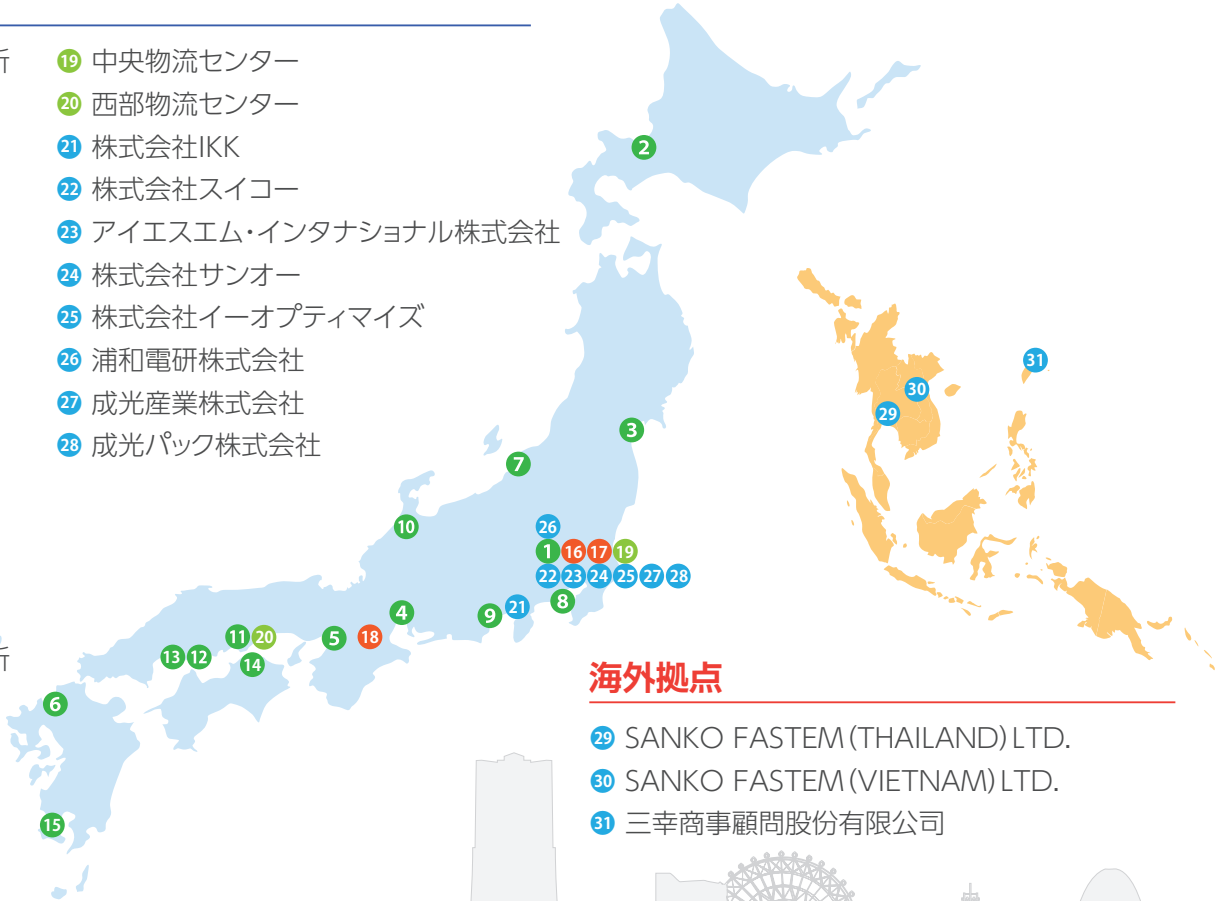
NETWORK 拠点

55年のあゆみを経て、国内27拠点、海外3拠点からなる
サンコーテクノグループネットワークを展開しております。

- 営業拠点
- 製造・開発拠点
- 物流拠点
- 関連会社

国内拠点

1. 南流山事業所
2. 札幌支店
3. 仙台支店
4. 名古屋支店
5. 大阪支社
6. 福岡支店
7. 新潟営業所
8. 横浜営業所
9. 静岡営業所
10. 金沢営業所
11. 岡山営業所
12. 広島営業所
13. 広島事業所
14. 高松営業所
15. 鹿児島営業所
16. 流山事業所
17. 野田工場
18. 奈良工場
19. 中央物流センター
20. 西部物流センター
21. 株式会社IKK
22. 株式会社スイコー
23. アイエスエム・インタナショナル株式会社
24. 株式会社サンオー
25. 株式会社イーオプティマイズ
26. 浦和電研株式会社
27. 成光産業株式会社
28. 成光パック株式会社



海外拠点

29. SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.
30. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.
31. 三幸商事顧問股份有限公司

OFFICERS 役員紹介

代表取締役社長

洞下（ほらげ） 英人（ひでと） 生年月日：1965年8月22日

1997年 7月　当社入社
2003年 4月　執行役員企画本部長
2004年 6月　取締役企画本部長
2009年 4月　取締役経営管理本部長
2010年 4月　取締役副社長
2010年 6月　代表取締役社長（現任）

座右の銘
知行合一
趣味
アウトドア

常務取締役

洞下（ほらげ） 正人（まさと） 生年月日：1962年1月8日

1984年 4月　三幸商事株式会社（現当社）入社
1996年 4月　取締役開発部長
1998年 4月　取締役営業本部長
2005年 4月　取締役新事業推進本部長
2009年4月　取締役リニューアル事業部長
2013年 4月　常務取締役リニューアル事業及び技術開発管掌
2016年 4月　常務取締役
2018年 4月　常務取締役 兼 技術研究所所長（現任）

座右の銘
諸行無常
趣味
ゴルフ、スキー

社外取締役（常勤監査等委員）

松岡（まつおか） 省一（しょういち） 生年月日：1949年1月12日

1971年 4月　株式会社守谷商会入社
2009年 1月　守谷鋼機株式会社入社
2009年 2月　同社代表取締役社長
2015年 6月　当社常勤監査役
2016年 6月　社外取締役（常勤監査等委員）（現任）

座右の銘
天爵を修めて、人爵之に従う
趣味
読書、音楽鑑賞(THE BEATLES)、
絵画鑑賞(葛飾北斎)

社外取締役（常勤監査等委員）

岩城（いわき） 龍夫（たつお） 生年月日：1953年11月13日

1977年 4月　会計検査院採用
1999年12月　会計検査院 第1局外務検査課副長
2007年 4月　同 第3局国土交通検査第2課総括副長
2010年 4月　同 第3局国土交通検査第2課統括調査官
2014年 4月　内閣府大臣官房公益法人行政担当室 兼公益認定等委員会事務局政策企画調査官
2018年 6月　社外取締役（常勤監査等委員）（現任）

座右の銘
時時勤払拭
（じじにつとめてふっしきせよ）
趣味
茶道（表千家）

常務取締役

八谷（はちや） 剛（つよし） 生年月日：1957年9月7日

1984年 4月　三幸商事株式会社（現当社）入社
1990年 4月　札幌営業所長
2010年 4月　常務取締役ファスニング事業及びセンサー事業担当
2013年 4月　常務取締役センサー事業管掌
2015年 4月　常務取締役機能材事業管掌
2016年 4月　常務取締役（現任）

座右の銘
元気が一番
趣味
ゴルフ

社外取締役（監査等委員）

佐藤（さとう） 靖（おさむ） 生年月日：1960年1月23日

2000年 6月　石原機械工業株式会社（現株式会社IKK）取締役
2005年 6月　当社社外取締役
2018年 6月　社外取締役（監査等委員）（現任）

座右の銘
和顔愛語
趣味
週末の日本酒

株式の状況（2019年3月31日現在）

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	8,745,408株
株主総数	2,684名
単元株主数	1,788名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
洞下　英人	1,158	14.16
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.81
有限会社サンワールド	680	8.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	383	4.69
サンコーテクノ社員持株会	340	4.17
新井　栄	262	3.20
洞下　照夫	215	2.62
佐藤　静男	191	2.34
株式会社みずほ銀行	178	2.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	166	2.03

（注）1.千株未満は切り捨てて表示しております。 2.当社は自己株式（569千株）を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株主様アンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆様に対する積極的な情報提供とコミュニケーションを心掛け、皆様のご意見を今後のさまざまな活動に反映してまいりたいと考えております。その一環として、今回の株主通信に株主様アンケートを同封させていただきました。大変お手数ではございますが、アンケートにご協力いただければ幸いです。

アンケート締め切り：2019年10月31日まで（消印有効）

INFORMATION

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ（http://www.sanko-techno.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	303名（連結571名）（2019年3月31日現在）
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535　FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 三井住友銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等）、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社 浦和電研株式会社 成光産業株式会社 成光パック株式会社
非連結子会社	株式会社イーオプティマイズ
持分法適用関連会社	株式会社サンオー

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		み ず ほ 証 券：本店および全国各支店、プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行：本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。